

令和6年 8月 23日	
担当課 (担当者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電話	0858-35-5411

鳥取県感染症流行情報

第33週 [令和6年8月12日(月・休)～8月18日(日)]

【お知らせ】

- 新型コロナウイルス感染症は全県で感染注意情報が発令中です。
- 手足口病警報が発令中です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

<主な定点把握対象感染症>

疾 病 名	東 部	中 部	西 部
インフルエンザ	×	△	△
感染性胃腸炎	×	△	×
水痘(水ぼうそう)	◎	×	×
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	◎	×
手足口病	★	★	★
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	×	○	○
咽頭結膜熱	○	◎	△
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	△
RSウイルス感染症	△	○	○

- ★ 警報発令中
- ◎ 流行している
- やや流行している
- △ 散発
- ×
- × 患者発生極少又はなし

<新型コロナウイルス感染症>

地 区	東 部	中 部	西 部	合 計	全国(第33週)
患者数(人)	109	121	197	427	
定点当たり患者数	9.08	20.17	17.91	14.72	8.50
流行情報	—	◎警戒	○注意		

- 注意レベル： 定点当たり10人/週 (今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階)
- ◎警戒レベル： 定点当たり20人/週 (感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階)

【コメント】

- 1 新型コロナウイルス感染症は、引き続き全県で感染注意情報が発令中です。中部及び西部地区で患者報告数が増加しています。中部地区では警戒レベルを超えており、今後さらなる感染拡大が懸念されるため、警戒が必要です。
- 2 手足口病警報が発令中です。東部及び西部地区で流行しており、引き続き注意が必要です。

- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。中部地区で流行しており、引き続き注意が必要です。
- 4 咽頭結膜熱は、東部及び中部地区で患者報告数が増加し、中部地区で流行しています。
- 5 水痘は、東部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 6 流行性耳下腺炎は、中部地区で患者報告がありました。
- 7 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・新型コロナウイルス感染症（427件）
 - ・手足口病（64件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（49件）
 - ・感染性胃腸炎（30件）
 - ・RSウイルス感染症（21件）
 - ・咽頭結膜熱（9件）
 - ・水痘（3件）
 - ・流行性耳下腺炎（1件）

病名	特徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合があります。ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合は、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に流行時には手洗いをしっかりとしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
手足口病	口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られます。	<ul style="list-style-type: none"> ・流行時に手指の消毒を励行しましょう。 	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。	<ul style="list-style-type: none"> ・咳エチケットを心がけましょう。 	
咽頭結膜熱	アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者との密接な接触は避けましょう（タオルなどは個人用としましょう）。 	
水痘	水痘帯状疱疹ウイルスの感染により、水疱（水ぶくれ）、発熱といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期接種等でのワクチンによる予防が有効です。 	
流行性耳下腺炎	強い感染力をもったムンプスウイルスによる感染症で、唾液腺（耳下腺など）の腫れ、圧痛、嚥下痛、発熱がみられます。	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが有効です。 	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること